

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成27年度取組結果】

団体名	福岡北九州高速道路公社
-----	-------------

所管課	建築都市局 都市交通政策課
-----	---------------

<p>団体に対するミッション</p> <p>本市の区域において、指定都市高速道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与する。 これを遂行するために、安全性を確保しつつ計画どおりの着実な償還ができるよう、利用者数の拡大に取り組む。</p>
--

<p>行財政改革大綱における見直し内容</p> <p>安全性を確保しつつ計画どおりの着実な償還ができるよう、引き続き利用者の拡大に取り組む。</p>
--

ミッションに基づく中期計画

3～5年後に目指す状態	着実な償還を推進するとともに、道路を健全な状態に維持し、お客様に安全・安心・円滑な質の高いサービスを提供する。
-------------	---

主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）						
	H26 実績	H27		H28	H29	H30	H31
		目標	実績	目標	目標	目標	目標
交通量（台／日）	87,903	前年度の水準を維持する	89,364	前年度の水準を維持する	→		
緊急措置発生数（件）	-	0	0	0	0	0	

ミッションの遂行状況の評価（平成27年度）

<p>団体における評価</p> <p>平成26年度に策定した計画案に基づき、計画的な事業実施に取り組んだ。 国が定める統一的な基準に基づいた橋梁、トンネル等の近接目視点検を実施し、緊急措置段階発生件数をゼロとなるなど、安全性の確保に努めた。 交通量については、対前年比1.7%の増加となった。</p>	<p>市の評価</p> <p>平成26年度に策定した計画案に基づき、昨年度より事業を遂行した。 国が定める統一的な基準に基づいた橋梁、トンネル等の近接目視点検を実施し、より一層の安全性を確保した結果、緊急措置段階発生件数をゼロとなったことは評価できる。 交通量の評価については前年比1.7%増加しており、一定の評価が与えられる。</p>
<p>今後の課題及び見直し内容</p> <p>今後、橋梁、トンネル等の道路構造物が老朽化していくことを踏まえ、5年に1回の頻度で近接目視点検を確実に実施することで、道路の安全性を確保していく必要がある。 利用促進については、参加イベント及び参加手法を見直し、より効率的且つ幅広く広報活動を行うこととしたい。</p>	<p>団体への改善指導内容</p> <p>昨年度に引き続き着実に点検業務を行い、安全性の確保に努めること。 また、昨年度以上の利用者数拡大に努めるよう指導していく。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	-
<p>ミッションの課題と同様、今後、橋梁、トンネル等の道路構造物が老朽化していくことを踏まえ、5年に1回の頻度で近接目視点検を確実に実施することで、道路の安全性を確保していく必要がある。</p>	